

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	754-3604
部 名	生涯学習部	課 名	市立図書館	課長名	小林清志
事務事業名	図書館電算システム事業				
予算上の事務事業名	図書館システム経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15110		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第1施策 生涯学習機会の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	図書館法、相模原市図書館条例・同施行規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼				
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館電算システムの保守・管理を行う。 図書館資料や貸出券の認識方式をOCRからバーコードに統一することにより、 <p>(2) 対象（誰、何）</p> <p>バーコード化処理 利用者貸出券3万2千件 図書資料 75万冊</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。</p> <p>バーコード化について 図書館資料 平成17年9月～18年3月 市立図書館、分館、相模大野図書館、橋本図書館、公民館図書室等を順次委託で行った。 貸出券 平成17年4月～18年3月 市立図書館、分館、相模大野図書館、橋本図書館、公民館図書室等において、利用受付時に随時行った</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況	<p>Web予約の実施状況 横須賀市（2002年）、川崎市（2003年）、町田市（2004年）、県立・横浜市・厚木市（2005年） 県内18市中12市で実施。</p>				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	54,085	54,858	76,392	88,552	152,000
一般財源	54,085	54,858	76,392	88,552	152,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	2,000	2,001	4,003	8,050	8,050
事業コスト合計	56,085	56,859	80,395	96,602	160,050
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	図書館資料認識方式統一事務作業委託			対象名称と単位	バーコード切替件数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	20,883	0	0
対象数	0	0	750,000	0	0
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	28	#DIV/0!	#DIV/0!
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	図書館資料・貸出券のバーコード切替件数（%）	指標式と指標の説明	切替済み件数818,000件/目標件数850,000件=96.2%		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	0.0	0.0	96.2		
目標	0.0	0.0	97.0	100.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	99.2		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	入力時の誤読件数（件）	指標式と指標の説明	OCR=1/1万件、BCR=1/3000万件		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	677.0	656.0	479.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（%）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		OCRラベルをバーコードラベルに統一することにより、将来的な図書館構想を検討していく中での懸案を解消し、入力作業の省力化と正確さを実現、経費の節減も可能となった。また、平成19年度の電算システムの変更に向けて新サービスを取り入れるなど「拡充・充実」とする	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
利用者が期待する新しいサービスとしてWeb予約などを取り入れる予定であり、平成18年度はシステム更新に向け研究準備作業を進める。			現在のWeb予約が不可能な図書館電算システムは、市民の要望にできていない。他市の状況と比較しても早期システム更新が望まれる		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			